

# 令和7年度第11回教育委員会会議日程

開催期日 令和7年12月15日（月）

開催時間 15時00分

開催場所 芽室町役場2階応接・会議室

開 会

日程第1 会議録署名委員の指名

日程第2 議案第28号 令和7年芽室町議会定例会12月定例会議教育委員会所管  
一般質問の件（非公開）

閉 会

日程第 2

議案第 28 号

令和 7 年芽室町議会定例会 12 月定例会議教育委員会所管一般質問の  
件（非公開）

令和 7 年芽室町議会定例会 12 月定例会議教育委員会所管一般質問について、答弁  
しようとするものであります。

令和 7 年 12 月 15 日提出

芽室町教育委員会教育長 程 野 仁

令和7年芽室町議会定例会12月定例会議一般質問

令和7年12月16日再開

質問議員名	質問項目	質問の内容・要旨	答弁を求めらる者
菊池秀明氏 (40分間)	1 循環型林業を目指した「森林整備計画」の見直しについて	<p>全国的に林業の担い手不足や採算性の悪化、森林資源の管理放棄が進む中で、森林の荒廃が水源涵養や防災、生態系など地域の基盤機能に深刻な影響を及ぼしつつあります。</p> <p>また、本町においても森林所有者の高齢化、森林面積の減少、気象災害の増加など、森林を取り巻く状況は厳しさを増しています。</p> <p>一方で、国の森林・林業政策は「伐採・再造林・育成・利用」という循環サイクルを軸とした「循環型林業」へ大きく転換し、森林環境譲与税の活用も含め、自治体に対して森林資源の適切な管理と循環利用が求められています。</p> <p>町は「第5期芽室町総合計画後期実施計画」の中で「地域林業の推進」を施策の一つに掲げ、「森林資源の適切な管理や循環利用を計画的に推進すること」を明確にしており、令和16年度までを計画期間とする「芽室町森林整備計画」においても、「循環利用の視点と意義」を改めて定義する必要があると考えることから、次の3点について、町長の見解を伺います。</p> <p>(1) 森林行政におけるこれまでの取組成果、現在抱える主たる課題及び今後の対策について、見解を伺います。</p> <p>(2) 森林資源の多面的機能の維持及び循環利用の必要性に関する課題認識と今後の対応について、見解を伺います。</p> <p>(3) 10年を計画期間とする「森林整備計画」が、大まかな指針ではなく、時代背景を捉えながら、かつ本町の実状を反映した具現化された計画になるよう、定期的な点検と検証が必要と考えますが、当該計画の進行管理の展望について、見解を伺います。</p>	町長

質問議員名氏	質問項目	質問の内容・要旨	答弁を求めめる者
立川美穂氏 (40分間)	1 地域で取り組む実効性の高い農作業安全対策について	<p>農林水産省や厚生労働省の調査によると、令和5年度の農業従事者10万人当たりの死亡事故数は、交通事故による死亡者数を上回り、建設業など他産業と比べても高い水準にあります。</p> <p>本町の基幹産業である農業は個々の経済活動であると同時に、国民の食料供給を担う公共性の高い産業でもあることから農作業安全対策は農業者の問題にとどまらず、地域全体で取り組むべき重要課題であると考え、次の2点について伺います。</p> <p>(1) 令和2年12月定例会議における一般質問への答弁では「農作業事故防止には個々の安全意識が最も重要であり、町独自の取組を行う予定はない」とされましたが、農林水産省が示す「令和7年度農作業安全対策推進方針」では、「自治体や地域単位の推進体制の強化」が明確に位置付けられています。農業の公共性と事故リスクの高まりを踏まえると、本町としても地域ぐるみの安全対策に主体的に関与する必要があると考えますが、町長の見解を伺います。</p> <p>(2) 農作業安全対策のために、自治体首長が会長を務める会議体を設立し、地域ぐるみの安全対策における連携体制を構築する先進事例も見られます。本町においても、町長が関係機関と連携し、農作業安全対策に関する協議会を設立することは、地域の営農体制と農作業安全の実効性の高い体制づくりに寄与するものと考えますが、設立に向けた取組について、見解を伺います。</p>	町長
木村淳彦氏 (60分間)	1 教職員の資質向上と組織の活性化について	<p>教育委員会では、教育基本法第17条に基づき、本町の教育施策を総合的・体系的に推進するため「第2期芽室町教育振興基本計画（2023-2026）（以下「第2期計画」という。）」を策定しています。</p> <p>第2期計画では、「多様な学びと質の高い教育を保障する環境の確立」を施策の一つとし、推進事項には「安全・安心で質の高い教育環境の整備～教職員の資質向上と働き方改革の推進」を掲げて取り組んでいます。</p> <p>昨今、全国的に教職員による信じ難い不祥事が頻繁に報道され、「教育は人なり」といわれるように、学校教育における教職員の資質と能力の向上が改めて問われています。</p> <p>現行の第2期計画は計画期間を来年度までとし、現行施策では「法令順守の徹底を図るとともに、不祥事の未然防止と服務規律の徹底に努めます」と規定していることから、これまでの取組実績、成果及び今後の展望について、次の3点の教育委員会の見解を伺います。</p> <p>(1) 教職員の資質向上や不祥事の未然防止策として、計画期間中の主な取組、課題と成果及び今後の方策について、見解を伺います。</p> <p>(2) 教職員が服務規律を遵守し、児童・生徒の安心・安全を守るために、教育委員会としてのどのような管理・監督体制で臨んできたか、その実態、課題と成果及び今後の展望について、見解を伺います。</p> <p>(3) 社会変化への対応や保護者等との関わりなど、多くの業務を抱えながら、ストレスを抱える教職員も多いと思いますが、その実態、課題及び今後の対策について、見解を伺います。</p>	教育委員会

令和7年芽室町議会定例会12月定例会議一般質問

令和7年12月17日再開

質問議員名 堀切氏	質問項目 1 住民慣れた地域で安心して暮らすための福祉の充実について	質問の内容・要旨	答弁を求めらる者 町長
		<p>町は「第5期芽室町総合計画後期実施計画（以下「後期計画」という。）」において「地域で支え合う福祉社会の実現」を施策の一つに掲げ、その主たる方策として、地域住民同士の「つながり」や「支え合い」を推進し、その担い手となる「人財育成」に取り組むとしています。</p> <p>また、高齢者を対象とする福祉の充実に関する施策では、高齢者の健康づくりや社会参加を推進し、住み慣れた地域で自分らしく安心して生活できよう適切なサービスを提供することを明確にしています。</p> <p>後期計画の計画期間が残り1年となり、今後は、次期総合計画策定に向けた取組も始まる時期と捉え、地域全体を俯瞰した主な福祉施策と高齢者に特化した重点的な福祉施策について、次の2点の町長の見解を伺います。</p> <p>(1) 「地域で支え合う福祉社会の実現」を目指して取り組んだ「地域を基盤とする包括的支援の強化」及び「専門人財の機能強化・最大活用」に係る成果と課題、今後の展望について、町長の見解を伺います。</p> <p>(2) 「高齢者福祉の充実」を目指して取り組んだ「社会参加事業（介護予防）」、「住民による支え合い事業（地域共生社会の実現）」、「地域包括ケアシステムの推進」及び「重度化防止、自立支援に向けた介護基盤整備」に係る成果と課題、今後の展望について、町長の見解を伺います。</p>	

質問議員名	質問項目	質問の内容・要旨	答弁を 求める者
渡辺洋一郎 (60分間)	1 芽室町立小 中学校配置計 画について	<p>本町では、教育効果の向上と教育環境の整備を図ることを基本方針とした「芽室町立小中学校配置計画（平成31年度～令和8年度）（以下「計画」という。）」を策定し、現在、次期計画に向けた検討を精力的に進めていると認識しています。</p> <p>近年、本町の出生数は年間100人を割り、児童生徒数の減少も急速に進み、この結果、令和8年度からは芽室南小学校で、令和10年度には上美生小学校・中学校でも複式学級となる見通しです。</p> <p>これは、単なる学校運営の問題だけにとどまらず、教育現場における大きな変化、教員の勤務環境及び児童生徒の学習環境への影響など、様々な待たしに課題が顕在化していることを示していると考えます。</p> <p>これらのことから、次期計画策定に際しては、これまでと異なる新たな展望が不可欠と考えることから、次の3点について教育委員会の見解を伺います。</p> <p>(1) 令和8年度以降の本町の大きな教育環境の変化により、児童生徒に対する学習保障、教育現場の負担増、教員配置の逼迫等への影響について、課題認識と今後に向けての見解を伺います。</p> <p>(2) 次期計画の策定については、これまで以上に町全体に及ぼす影響が大きい重要事項であるため、住民に対する情報提供や保護者・地域住民・関係者等との情報共有及び合意形成が極めて重要だと考えますが、どのように進めようとしているのか見解を伺います。</p> <p>(3) 持続可能な教育環境を守るため、町として目指す小中学校の配置と規模、今後の方向性について、基本姿勢を伺います。また、本町の将来の教育環境を左右する重要な課題に今後どう向き合っていくのか、見解を伺います。</p>	教育委員会